

地域の人材を生かして、子どもたちに豊かな学びを！

新宮小学校は平成28年度の新宮北小学校への分離後も児童数が増え、現在は、1,087人の大規模校となりました。大規模校になった今も、新宮町のコミュニティ・スクール(CS)推

進事業をとおして、地域のみなさんのあたたかな支援のもと、「安心・安全な登下校」「豊かな学び」をサポートしてもらっています。

安心・安全は、学校づくりの基盤 ～見守り隊のみなさんに感謝～

新宮小では、安全な学校づくりのために、CSの取り組み「子ども110番の家への挨拶(通学路の110番の家を訪問し、顔見知りになる活動)」「挨拶でつながる新宮小の輪(毎月1日の地域・家庭・学校が一体となった挨拶運動)」を続けてきました。区長や地域見守り隊のみなさんの協力のおかげで、この2つの取り組みが充実してきました。

本年度は、2年生「わたしたちがお世話になっている人」の学習で見守り隊のみなさんと交流しました。子どもたちが「暑い日も、寒い日も、毎日、新宮小の子どもたちのために、なぜ、見守り活動をしているのか」など、見守り隊のみなさんの思いについて質問すると、「地域の宝」として子どもたちを大切に思う気持ちが伝えられました。子どもたちは満面の笑みでお礼の言葉を述べていました。子どもたちの心に膨らんだ感謝の気持ちは、一

緒に給食を食べる笑顔からもうかがえました。

そして、この取り組みを全校の子どもたちに発信し、全校で感謝状をわたす「見守り隊感謝の会」を行い、1,000人を超える全校児童の感謝の気持ちが、体育館中にあふれる心温まる会となりました。



▲見守り隊のみなさんと楽しく給食を食べました

地域の力を借りて、レッツ イングリッシュ!!

新宮小学校では、4人の地域英語ボランティアの協力のもと、5・6年生の外国語活動の支援に入ってもらい取り組みを開始しました。英語でのスピーチ活動の時間に単語の発音や表現の仕方を丁寧に教えてもらえるので、これまで以上に生き生きとした活動が見られます。子どもたちは英語ボランティアの先生が来るのを楽しみにしています。これからも地域とつながり、子どもたちの力を伸ばしていきたいと考えています。



▲英語ボランティアの先生による英語えほんの読み聞かせ